

東洋合成工業株式会社 個人投資家様 会社説明会

(証券コード：4970)

2022年1月7日~8日

 TOYO GOSEI

1. 東洋合成とは？

2. 事業内容～なぜ東洋合成なのか？

3. 足元の業績見込みと中計進捗

4. 今後の成長性

- 社名： 東洋合成工業株式会社
- 設立： 1954年（昭和29年）9月27日
- 代表者： 代表取締役社長 木村 有仁
- 所在地： （本店）千葉県市川市上妙典
（本社）東京都台東区浅草橋
- 資本金： 1,618百万円 **（独立系2代目）**
- 売上高： 27,164百万円
- 従業員数： 728名
- 上場市場： 東京証券取引所 ジャスダック市場
- 証券コード： 4970
- 単元数： 100株

経営理念

東洋合成工業は、人類の文明の成長を支えるため、
人財・創造性・科学技術を核として事業を行い、
その寄与度を高めるためにも成長する



代表取締役社長
木村 有仁

- 持つものと、持たざる者の違い = 科学技術 ➡ 日本の復興
- 「アジアから世界に化学技術で貢献する事業を」との思いから、「東洋合成工業」を創業

“当社の発展を支えてきたアイデンティティ”



創業者 木村 正輝

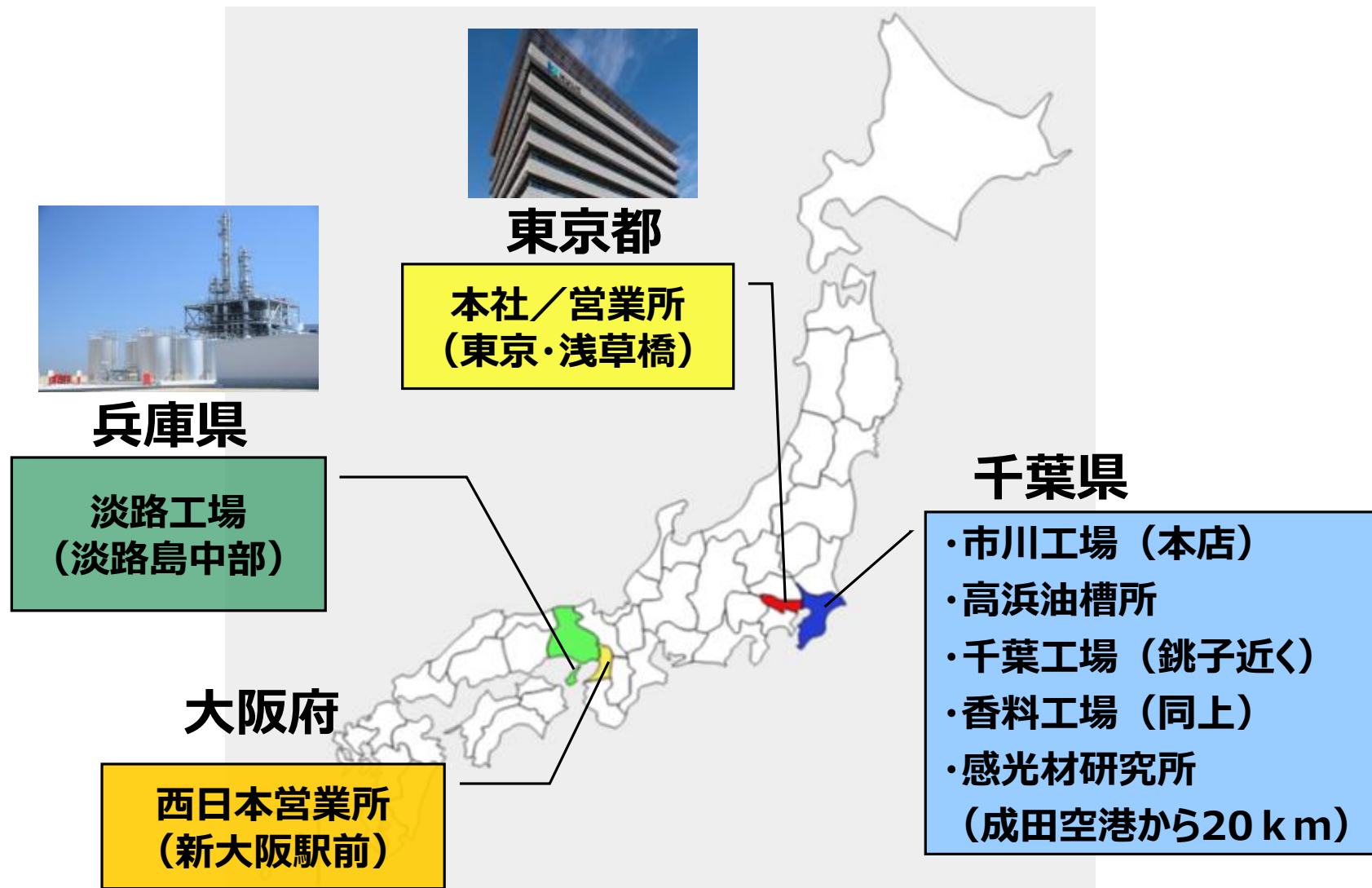
- 時代に必要とされるものを作る
- 他社が作れないものを作る
- 研究開発と技術を核とする
- あきらめず、愚直に、誠実にやる

“顧客課題を真摯に解決する”

➡ 独創性・グローバルニッチトップへ

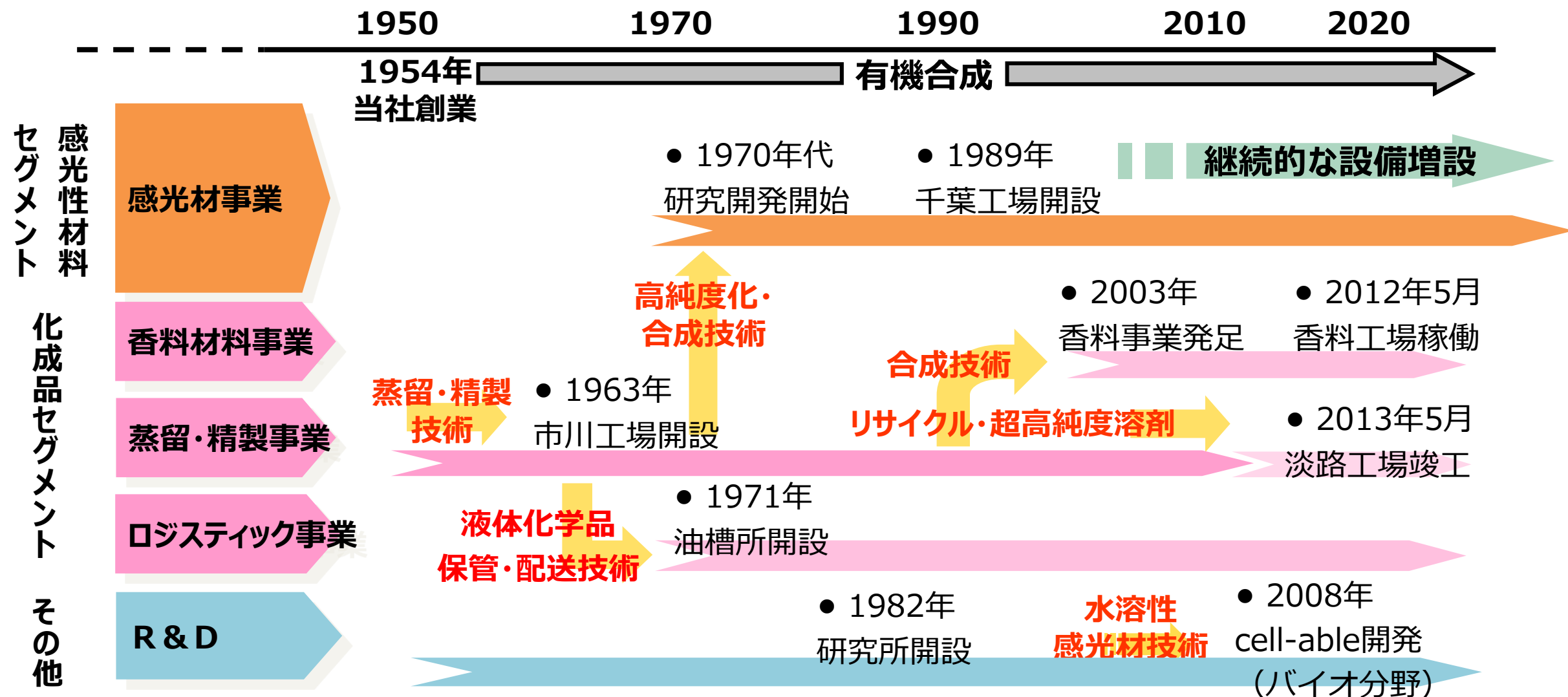
事業所の所在地

- 国内8拠点（4工場）で事業を展開
- 国内だけでなく、海外売上高比率は約3割とグローバルに供給



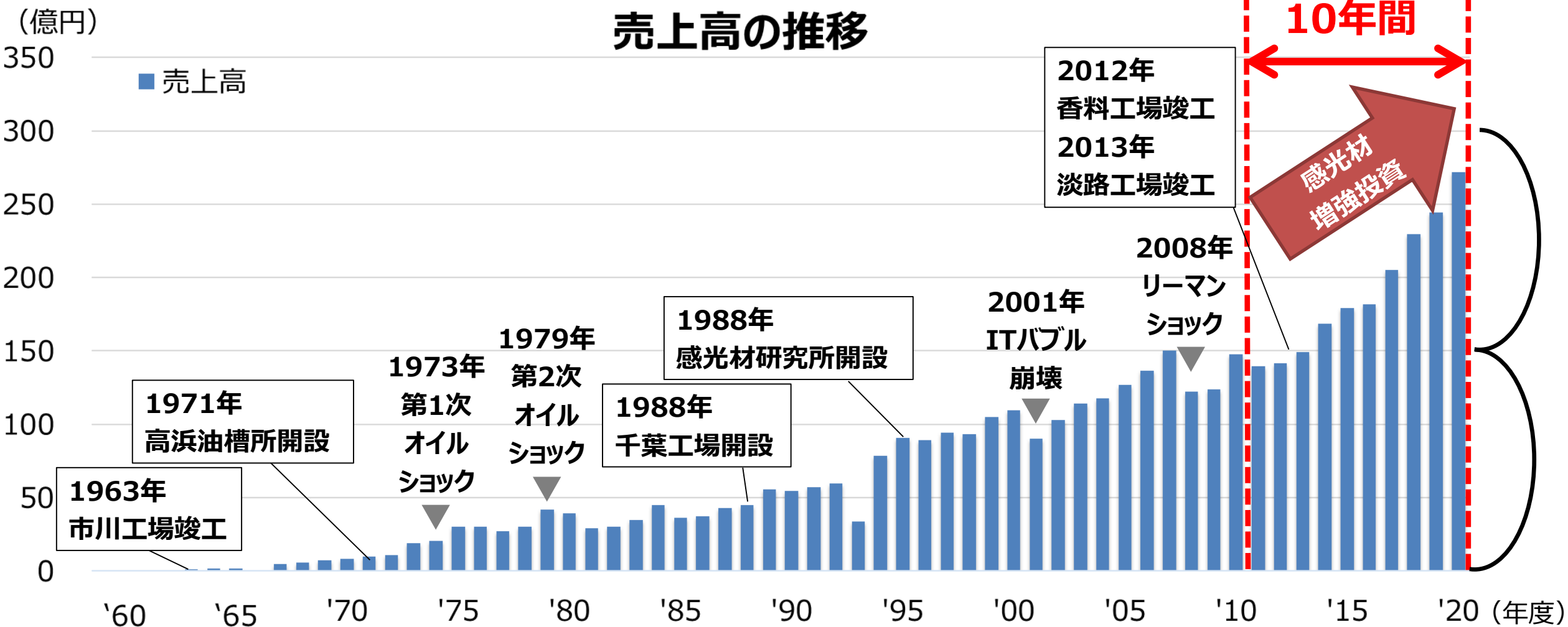
現在までの事業展開

- 常に時代のニーズを先読みし、事業を発展
- 1954年の創業以来、「有機合成」と「高純度化技術」を核に展開



売上高の推移

- 創業来65年、激しい変化の中、“**研究開発を生命線**”に着実に成長
- 直近10年間は、売上高150億円から300億円へ倍増



- 売上の8割以上が、半導体・ディスプレイ・その他電子材料関係であり、今後、更なる売上拡大が見込まれる。



香料材料



ロジスティック



感光性材料
セグメント

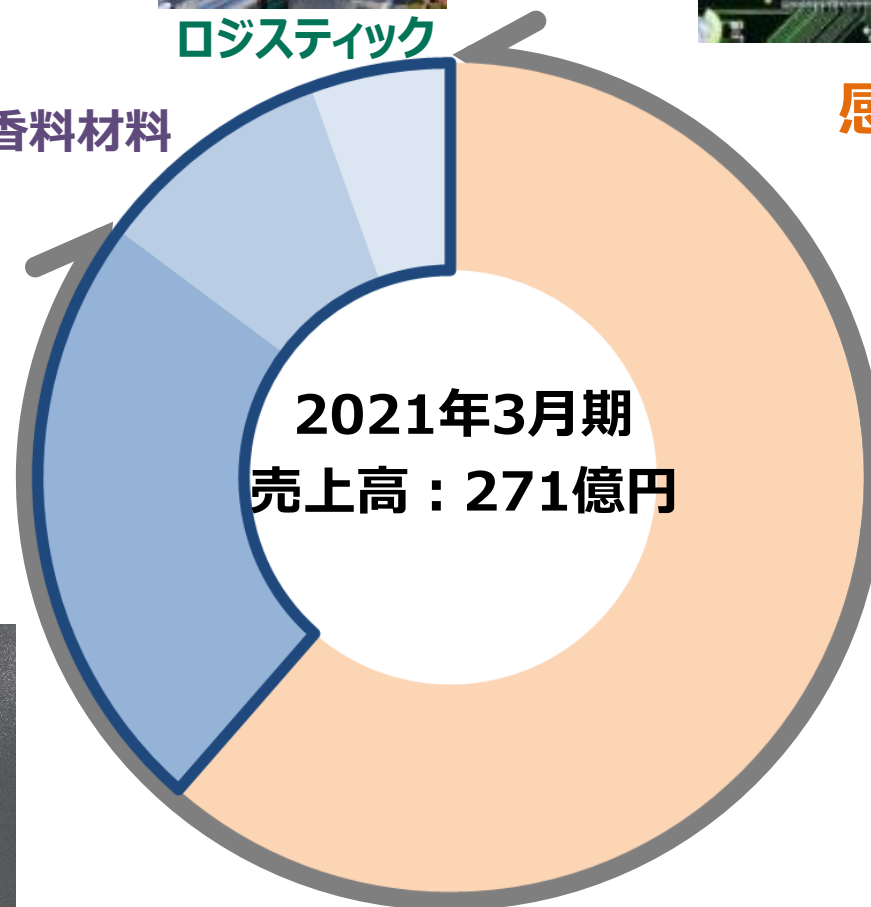
59%

半導体・ディスプレイ・
その他電子材料関係
(感光材・ポリマー、高純度溶剤)



化成品セグメント
41%

高純度溶剤



社外からいただいている評価

- 「グローバルニッチトップ企業 100 選」：“半導体材料トップシェア”
- 2021年度「JPX日経中小型株指数」構成銘柄株：“投資者にとって投資魅力の高い会社”
- DBJ BCM格付け：“防災及び事業継続への取り組みが特に優れている企業”
- エコバディ sustainability 調査シルバーメダル：“「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」”



当社は2011年12月日本政策投資銀行（DBJ）よりDBJ BCM格付融資を受け、格付結果は「事業継続に対する取り組みが特に優れている」と評価されました。

BCMS ISO 22301

日本政策投資銀行
BCM格付け

「グローバルニッチトップ企業
100選」

2021年度「JPX日経中小型
株指数」構成銘柄株

ハラール認証

- 環境調和型のDX社会の実現に向け、事業活動を通してお客様の課題解決に貢献。
- 未来に向けて、ESG、SDGsを推進



未来創造型の化学メーカーとして、経営理念を礎に、4つの責任を掲げ、地球環境の改善、人類文明の成長に貢献

- 化学メーカーとしての責任(安全・環境)
- 素材産業としての責任(品質・労働安全衛生)
- 人々の未来を支える責任(研究開発・社会貢献)
- すべての事業活動の基本となる責任 (人材・ダイバーシティ、ガバナンス、コンプライアンス)



- 当社取締役 平澤聡美
感光材事業部長
ダイバーシティ担当役員
- 「日経WOMAN」
ウーマンオブザイヤー2022
【理系の新・ロールモデル賞受賞】
(後援：内閣府)



- 男女共にワークライフバランスを保ち、イキイキと働ける職場づくり、環境整備を推進

【奨学金】

- 東庄町、早稲田大学
- 東洋合成記念財団 (各大学)



- 鹿島アントラーズも応援

1. 東洋合成とは？

2. 事業内容～なぜ東洋合成なのか？

3. 足元の業績見込みと 中計進捗

4. 今後の成長性

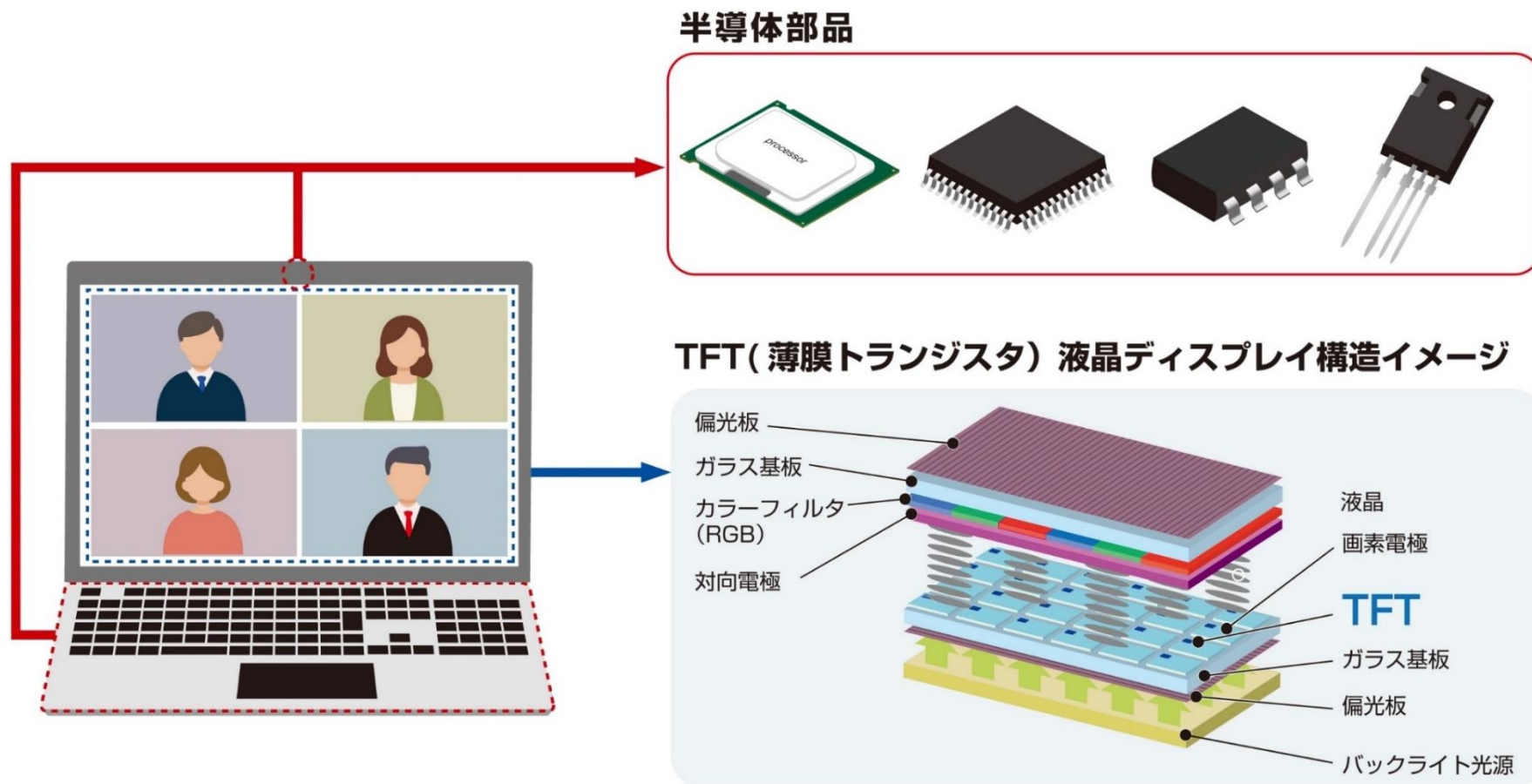
① 電子材料を多角的に展開、半導体/ディスプレイ材料 世界No.1シェア

② 香料材料でグローバルニッチトップのポジション

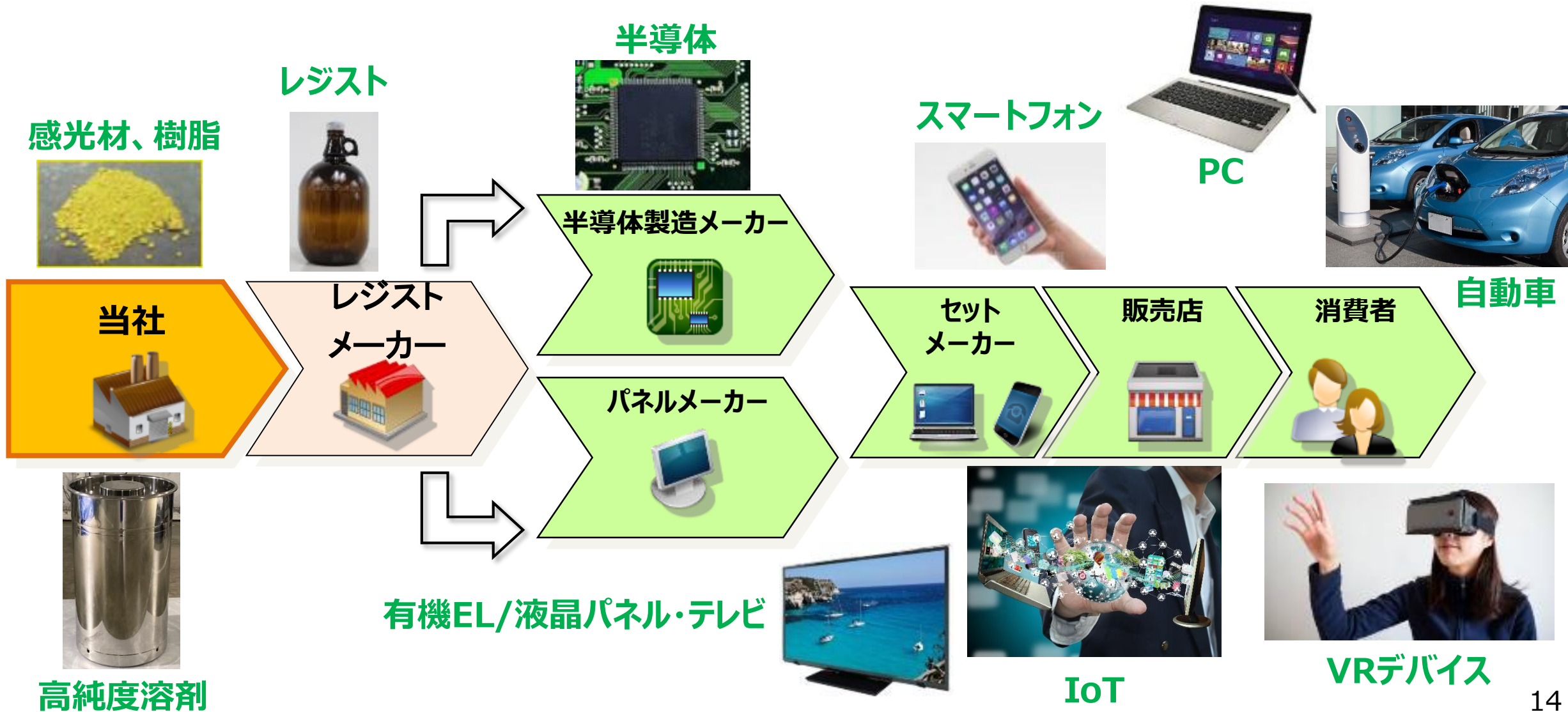
③ 化学メーカーが運営するタンクターミナル

“半導体/ディスプレイ材料 世界No.1シェア” を確立

- 例えばPCには、たくさんの半導体部品や表示装置が搭載されており、当社製品はその製造に必須
- 当社はディスプレイや汎用～最先端半導体用途まで**全てに使われる材料を供給**



- 半導体やFPD（フラットパネルディスプレイ）製造に必須な、**フォトレジストに使われる感光材をグローバルに供給**
- 半導体やディスプレイ利用のすそ野の拡大に伴い、感光材などの**販売量も急増**



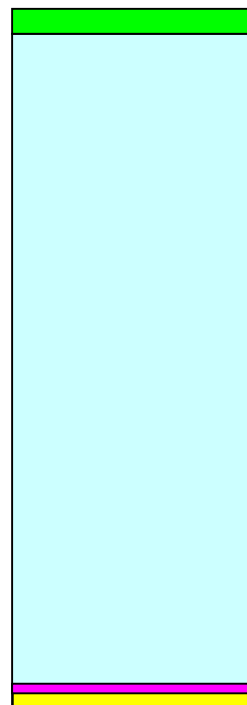
- 光に反応する薬液がフォトレジストであり、当社はその性能を決めるキー材料（感光材、ポリマー、溶剤）を製造。



フォトレジスト（液体）

※レジストメーカーにて調合。

フォトレジストの中身



計 100%



添加剤（界面活性剤 etc.）

超高純度溶剤

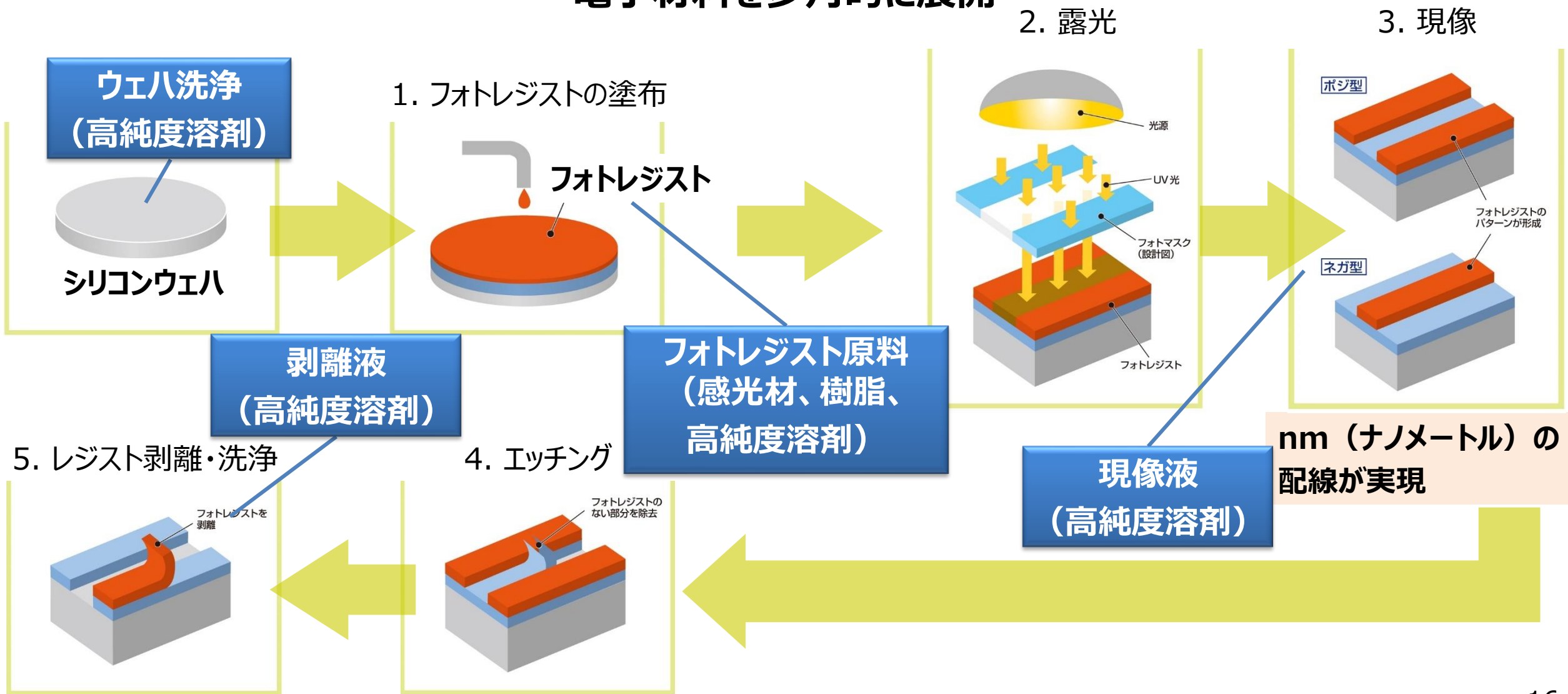
感光材（光に反応する部分）

ポリマー（固まるところ）

当社製品

- 当社製品（感光材、樹脂、高純度溶剤）は、電子回路形成のあらゆる所で使用される

“電子材料を多角的に展開”

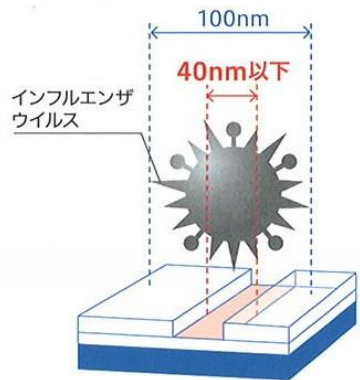


- ディスプレイのきれいさ、計算能力の性能・容量 = 配線の細かさ
- ウィルスよりも小さい線幅 (10nmレベル) での配線。
- 原料は、ppb (10億分の1)、ppt (1兆分の1) の不純物管理を実現し、安定供給。

創業以来培ってきた、“精密合成”と“高純度化”で、厳密な品質レベルを実現

ウイルスよりも細い線で
半導体は製造されています

半導体製造技術は数年ごとに微細化しています。現在ではインフルエンザ・ウイルス(直径100nm)よりもはるかに細い40nm以下の線を描けるほどになっています。この微細な技術が半導体製造を支えているのです。



- 10nmはどれくらい細かいのか・・・？
➡ 髪の毛 (0.1mm) と比べると・・・約1/10,000
- 1ppbは・・・0.0000001%
➡ 50m (縦50m、横10m、深さ2m) プールの中の水のうちの1ml
- 1pptは・・・0.0000000001%
➡ 50m (縦50m、横10m、深さ2m) プール1,000杯分の水のうちの1ml

米粒で例えると・・

55万本の線が引けます

当社の電子材料向け製品の特徴

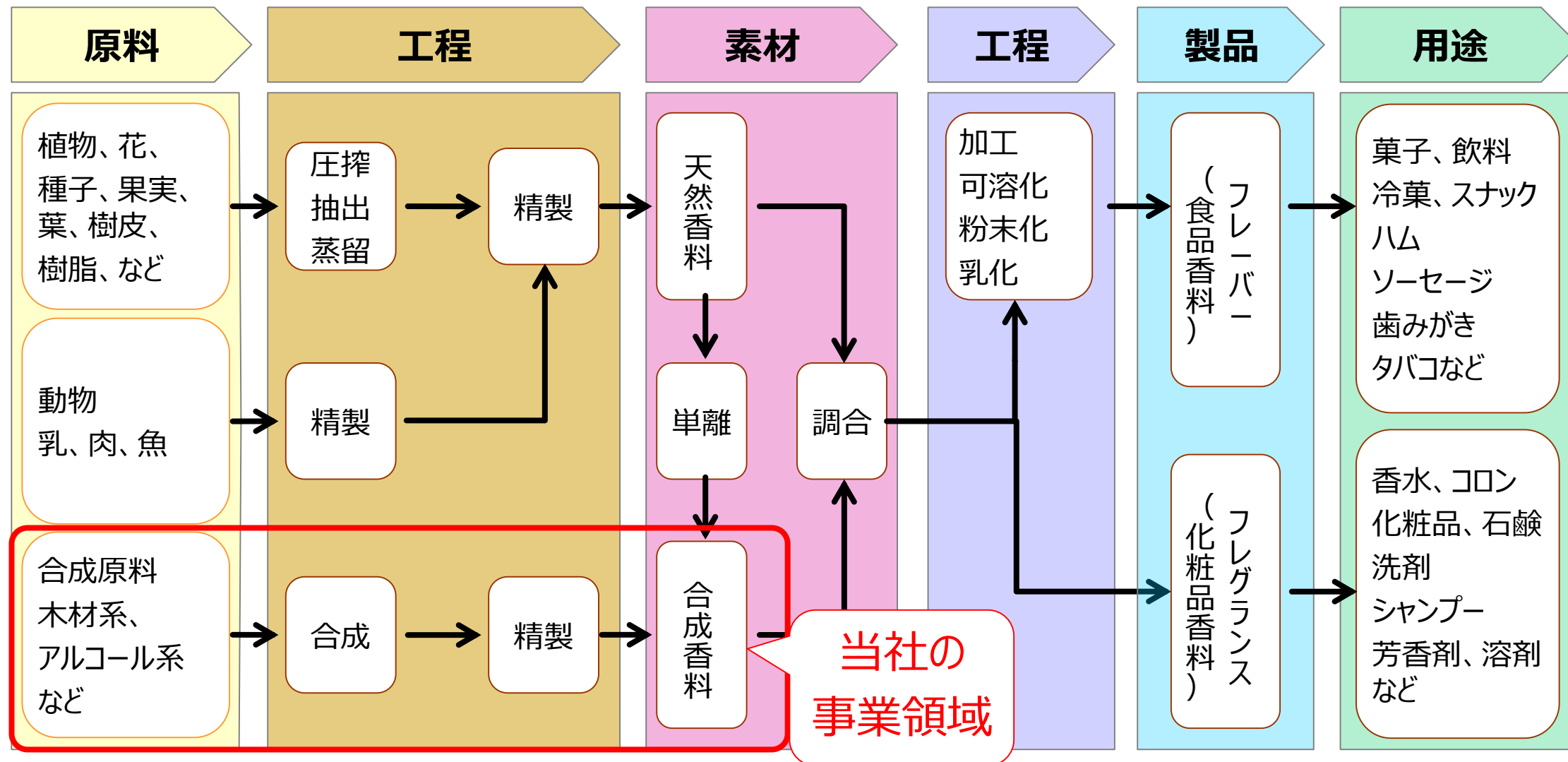
- 半導体の黎明期から、40年の感光材製造経験→設備・合成・精製に数多くのノウハウ
- 最先端～全ての世代の、感光材と樹脂を供給できる世界唯一のメーカー
- 少量多品種～大量生産まで、多様な生産ラインと40年の経験値で、あらゆるニーズにオーダーメイドで対応

← 既存品	FPDパネル用		半導体用								→ 先端品
光源	g + h + i 線	i線 (365nm)	g線 (436nm)	i線 (365nm)	KrF (248nm)	ArF (193nm)	ArF液浸 (193nm)	ArF DP (193nm)	ArF MP	EUV (13.5nm)	
線幅	~2,000nm	~1,000nm	~700nm	~200nm	~110nm	~65nm	~45nm	~22nm	~7nm	~5nm	~2nm
用途	テレビ用、一般用	中小型パネル スマホなど	IGBT、LCDドライバ、LED		DRAM/NANDメモリ 需要拡大			次世代DRAM テスト生産			
			後工程用パッケージ材料 CMOSセンサー		先端ロジックLSI 需要拡大			次世代ロジックLSI EUV生産拡大			
市場	需給ひっ迫	中国パネル 需要拡大	緩やかに 拡大	緩やかに 拡大	緩やかに 拡大	横ばい	量産拡大 半導体設備投資拡大		半導体設備投資 加速		開発中
当社製品	感光材 (PAC) 高純度溶剤				光酸発生剤 (PAG) 樹脂 高純度溶剤						

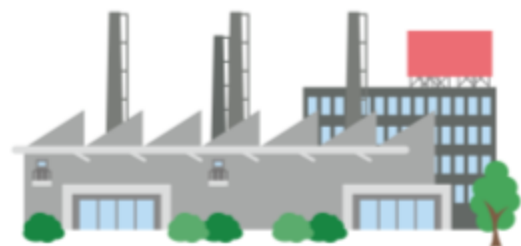
- ① 電子材料を多角的に展開、半導体/ディスプレイ材料 世界No.1シェア
- ② **香料材料でグローバルニッチトップのポジション**
- ③ 化学メーカーが運営するタンクターミナル

香料のサプライチェーン

- 人間の鼻はppb(10億分の1)を嗅ぎ分ける→高純度が必要
- 需要が安定成長(年平均3~4%)する合成香料を事業領域としている。
- 製品別の世界シェアは30~40%の、**グローバルニッチトップ**のポジション



- ① 電子材料を多角的に展開、半導体/ディスプレイ材料 世界No.1シェア
- ② 香料材料でグローバルニッチトップのポジション
- ③ **化学メーカーが運営するタンクターミナル**



① 化学品をケミカルタンカーで輸送



② タンカーからタンクへ



④ タンクローリーやドラムへ充填

③ 万全の品質管理で安全に保管



⑤ 首都圏の需要家へ配送





高機能な化学品保税タンク計65基



東京湾内最大の荷動き量



1日100台のローリー出荷

“東京湾内最大級の荷動き量”

創立50周年

“高い参入障壁と好立地条件”

- 東京湾岸、高速出入口まで5分と抜群の交通アクセス
- 外環道の開通により利便性がさらに向上
- 消防法規制により新規参入は困難
- 不況にも強い

“化学品メーカーの品質管理で幅広い化学品に対応”

“提供サービスを差別化”

- 化学メーカーが運営する唯一のケミカルタンクターミナル
- あらゆる荷姿に対応、独自の分析室も完備

1. 東洋合成とは？

2. 事業内容～なぜ東洋合成なのか？

3. 足元の業績見込み と 中計進捗

4. 今後の成長性

■中期経営計画のビジョン

顧客課題、技術課題一つ一つを真摯に独創的な視点で解決し、超高品質・生産性で世界No.1ダントツ企業となる。

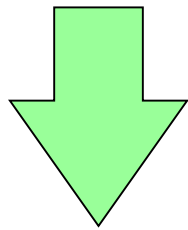
■活動基準（数値目標）

2018年3月期実績

売上高：205億円

経常利益：10億円

経常利益率：5.3%



2023年3月期目標

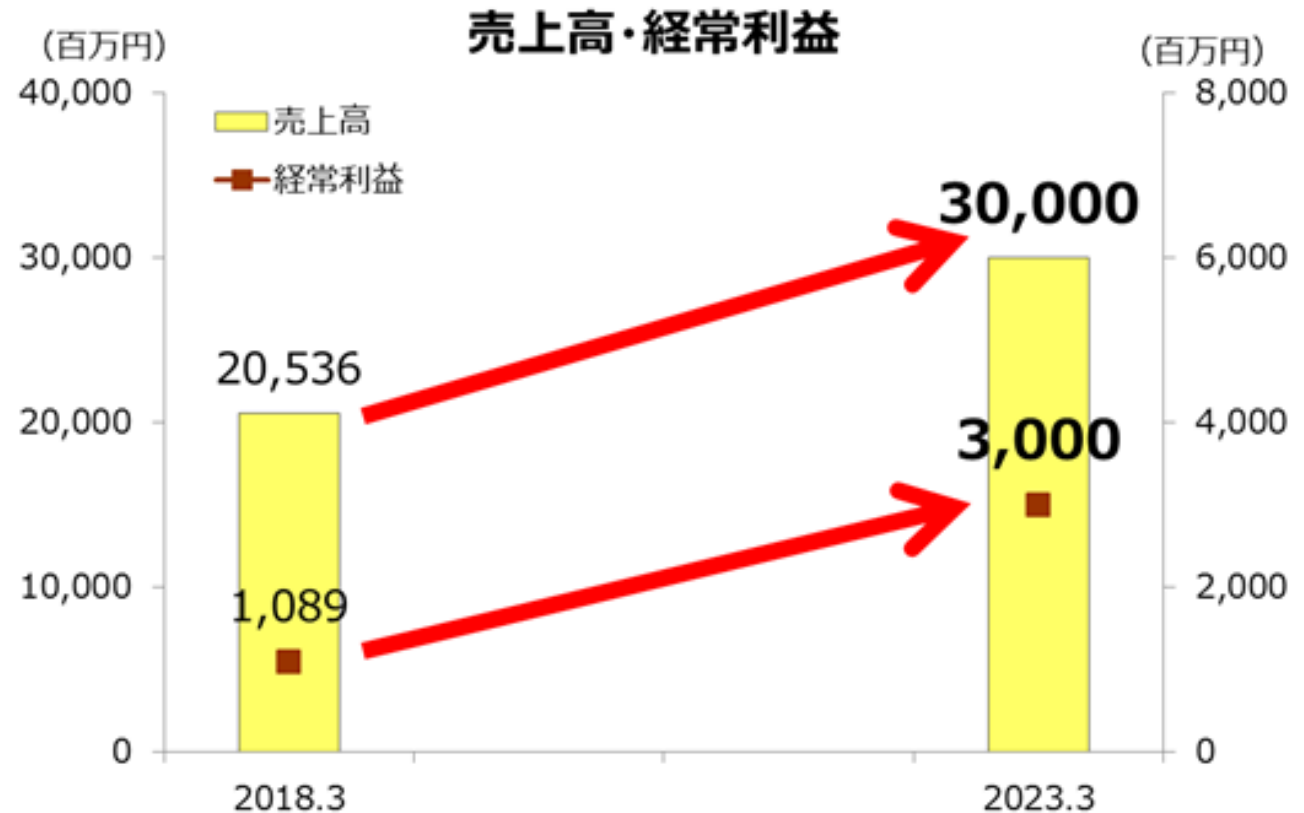
売上高：300億円以上

経常利益：30億円以上

経常利益率：10%以上

設備投資額：120億円

（戦略投資の中期経営計画期間累計）



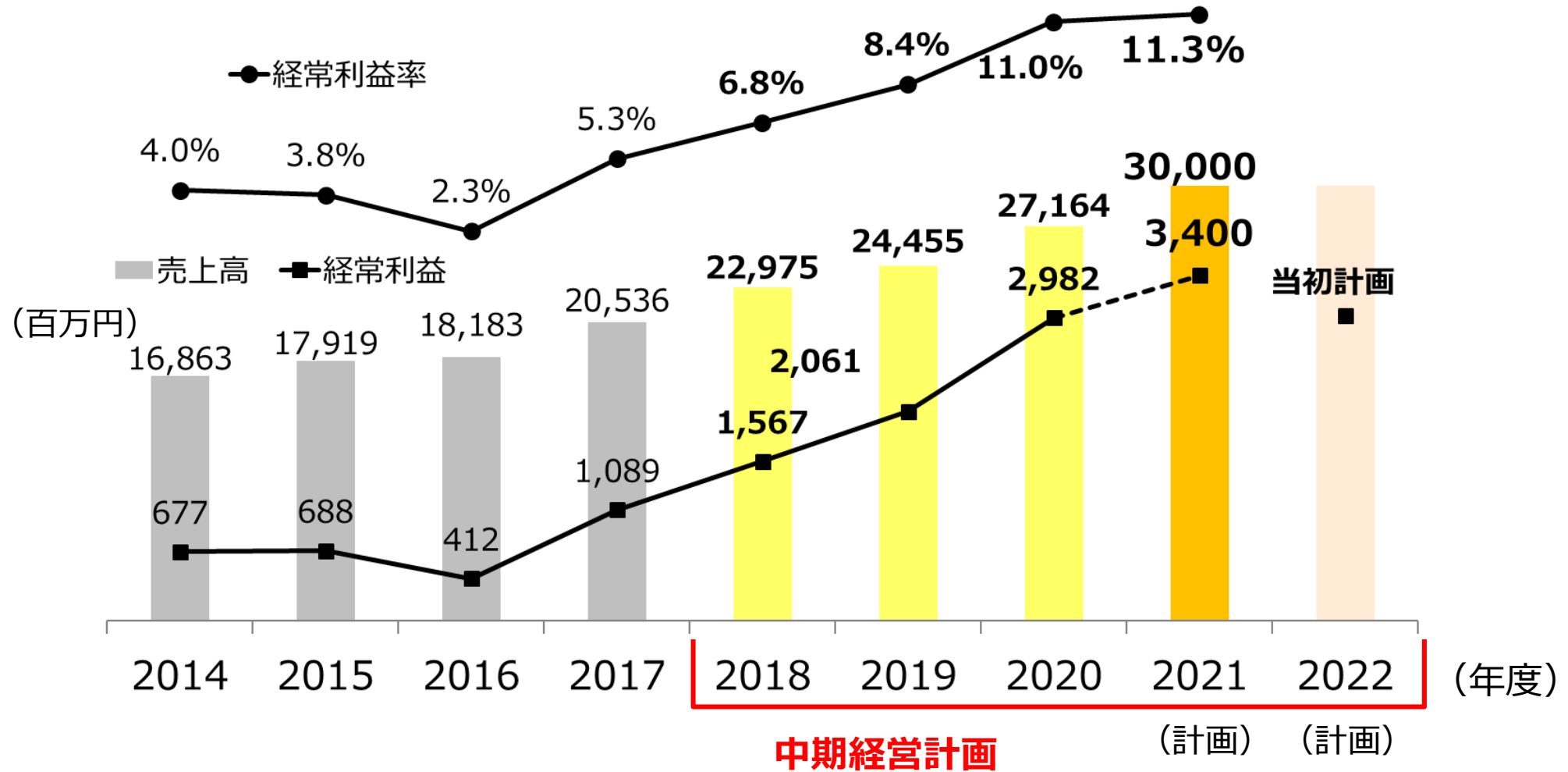
- 通期業績公表値に対する上期進捗率は、売上高が約50%、各利益は65%以上。

半導体・電子材料の旺盛な需要により、中期経営計画「TGC300」を前倒し達成予定

	2021.3月期 実績 (百万円)	2022.3月期 業績予想	2022.3月期 2Q 実績	進捗率
売上高	27,164	30,000	15,710	52.4%
営業利益	2,939	3,550	2,369	66.7%
経常利益	2,982	3,400	2,360	69.4%
当期（四半期）純利益	2,345	2,400	1,625	67.7%
1株当たり当期（四半期）純利益	295.57円	302.38円	204.79円	—

中期経営計画の進捗

- 中期経営計画「TGC300：2023年3月期 売上高300億円、経常利益30億円以上、経常利益率10%以上」は、2022年3月期に、1年前倒しで達成見込み➡需要拡大が加速。
- 次期中期経営計画 策定中。

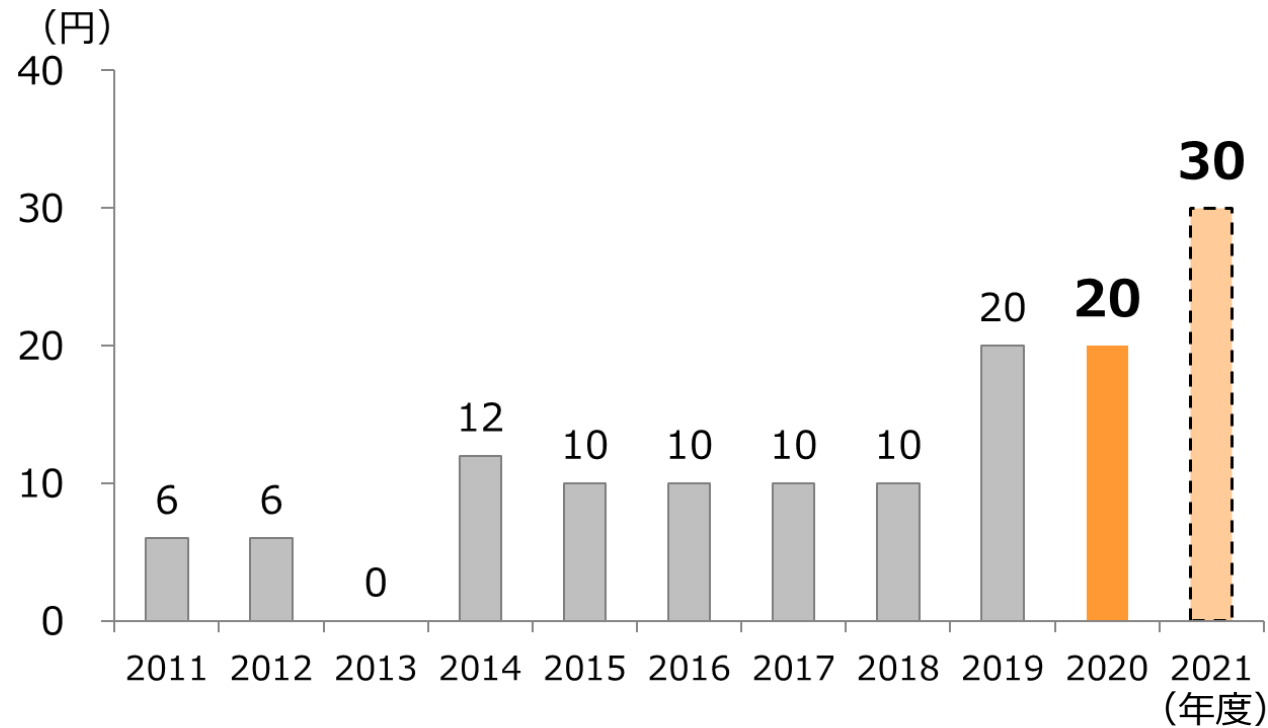


- 当社株価は、過去4年間で26倍（674円→17,590円）、直近2年で10倍（1,604円→17,590円）
- 株主総利回り（直近5年）も19.8倍と、同期間の東証株価指数（TOPIX）1.6倍を大きく超過



- 2022.3期は、TGC300の前倒し達成を計画し、年間配当30円への増配を計画

1株当たり配当金額



株主優待（2020年度実績）



500株以上

送付内容

- 千葉県香取郡東庄町産コシヒカリ 5kg
- 淡路島産たまねぎスープ 10食入り
- 兵庫県産焼き海苔 10枚入り

1. 東洋合成とは？

2. 事業内容～なぜ東洋合成なのか？

3. 足元の業績見込み と 中計進捗

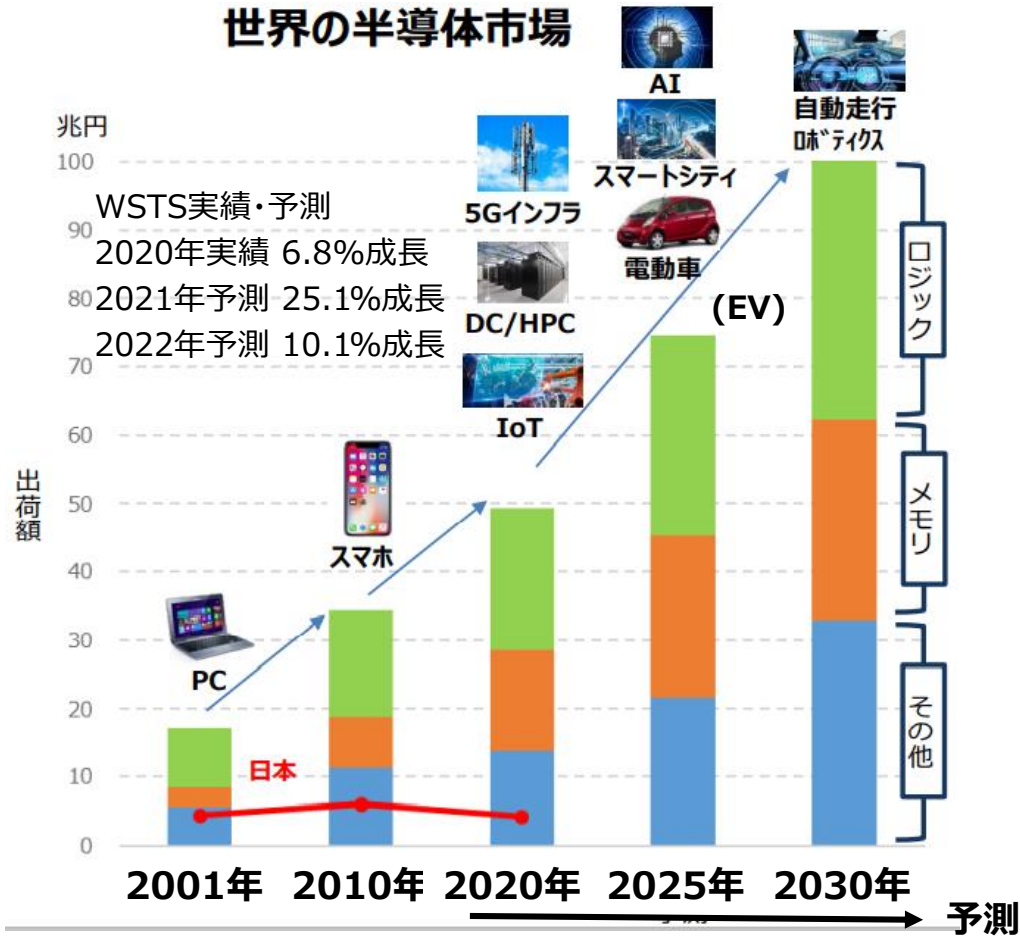
4. 今後の成長性

- DXの進展により、2020年→2030年に半導体市場は倍増
- 当社製品（高純度溶剤、高純度感光材）の需要は急増

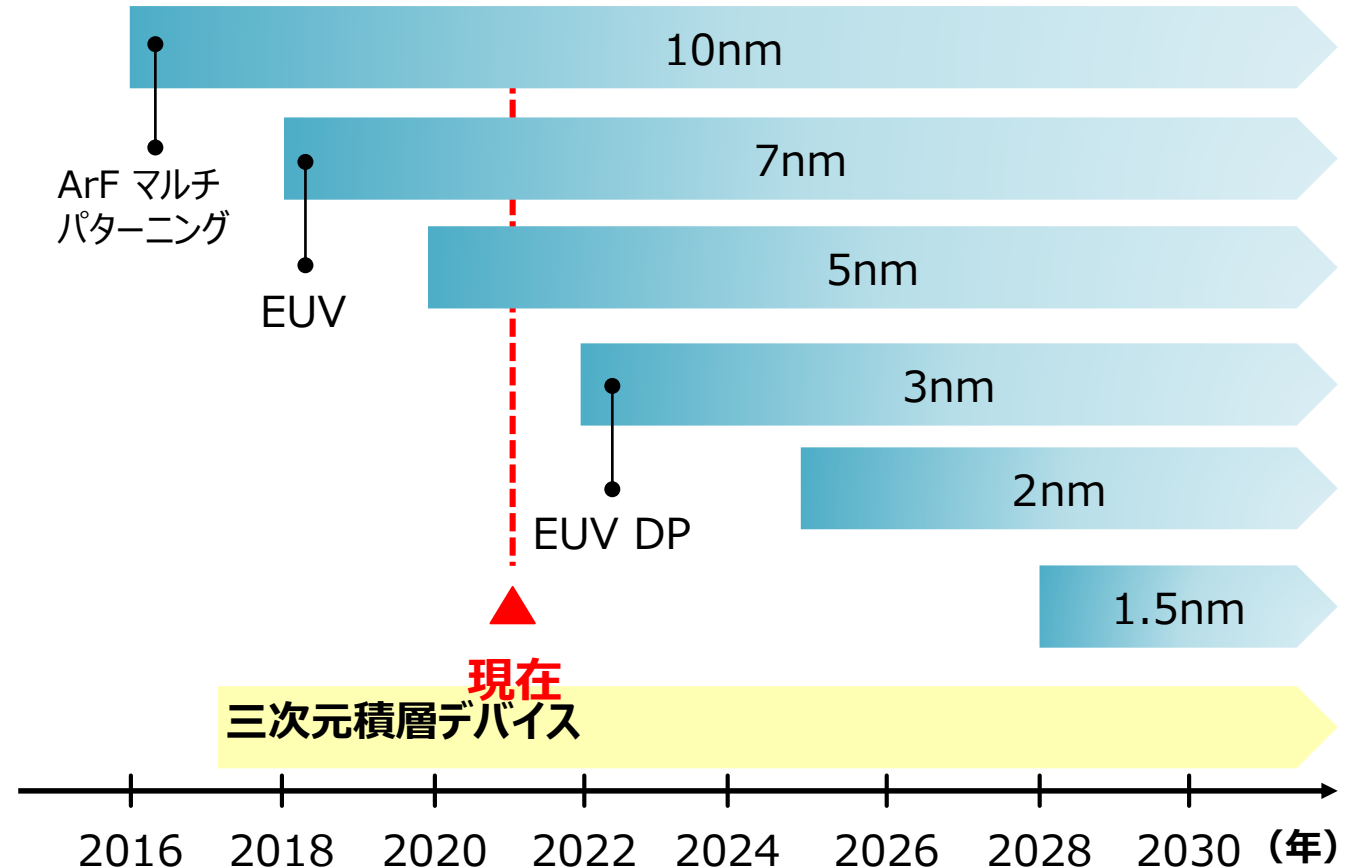
2021年 半導体市場成長率の加速と需要急増 (WSTS)
 8.4% (12月) → 19.7% (6月) → 25.1% (8月)

“70年間培った溶剤/感光材の製造技術を更に進化させ、業界の進化を支える。”

世界の半導体市場

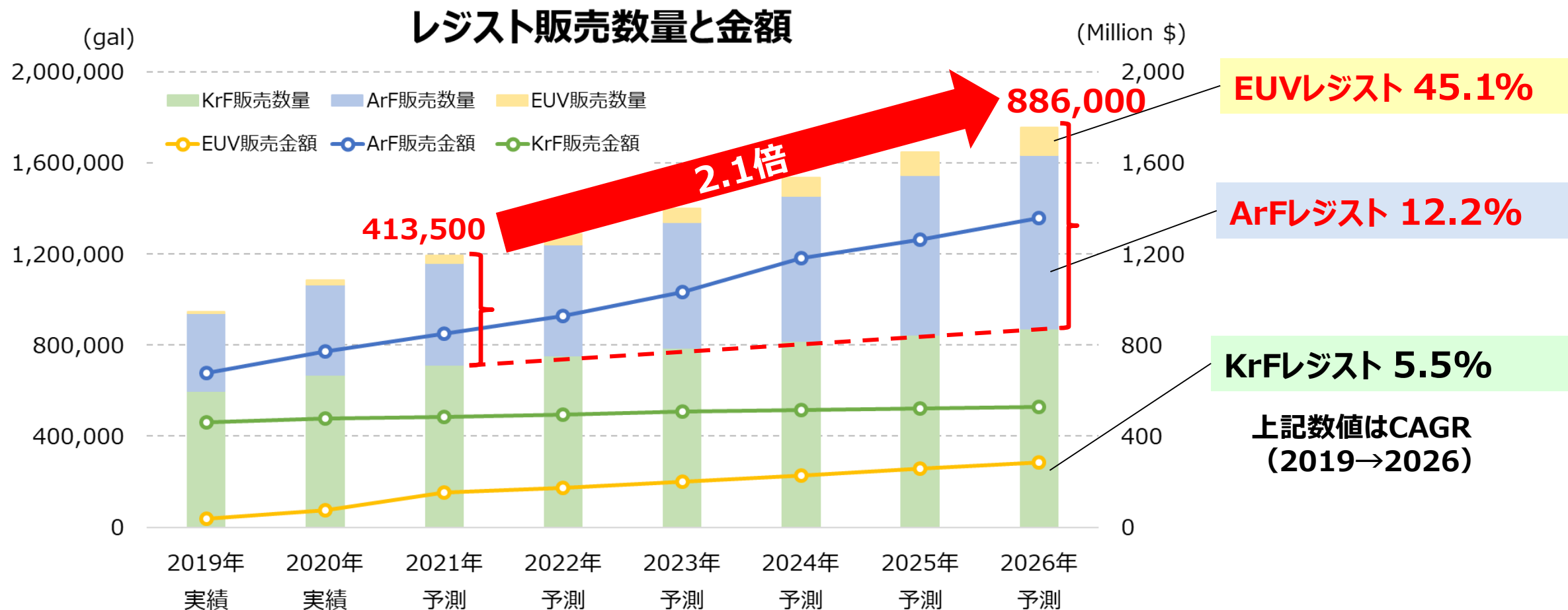


半導体技術ロードマップ



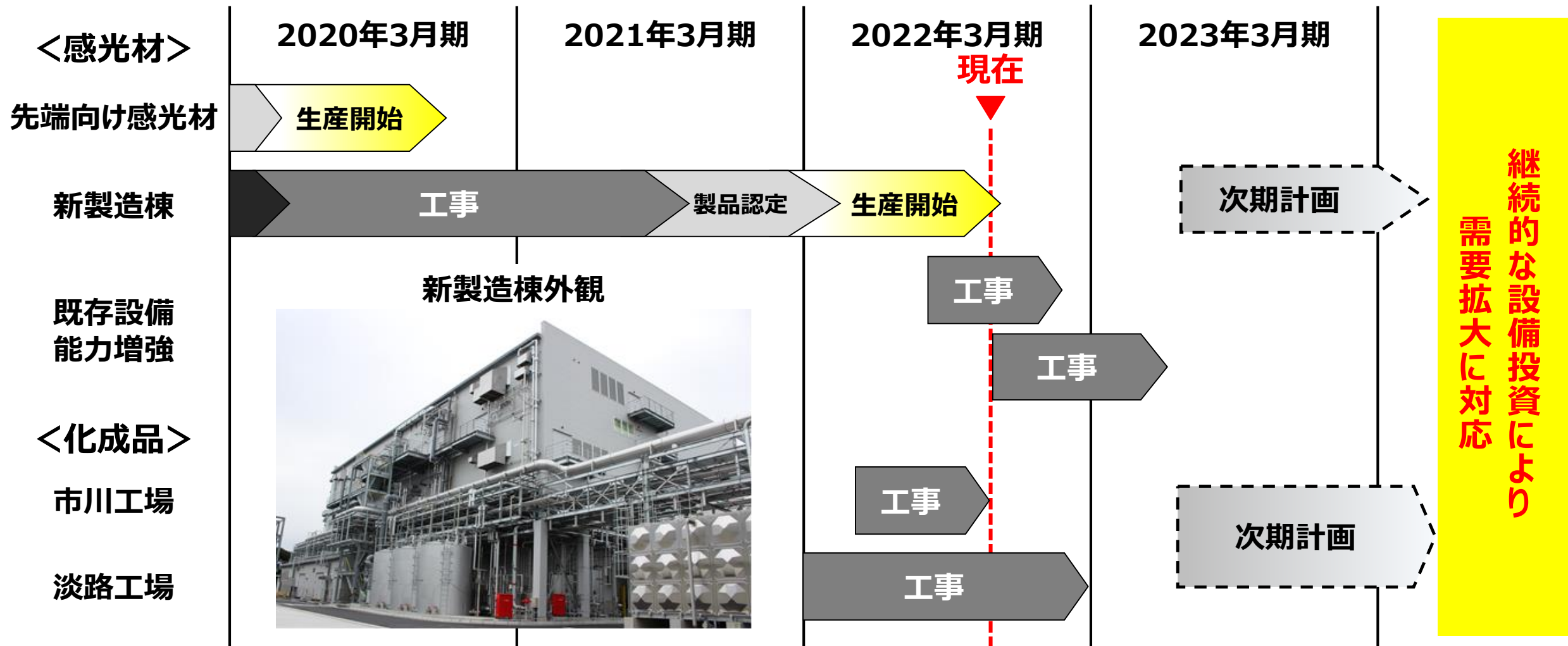
- ArF、EUVレジストの需要量は、2021年～2026年に掛けて、少なくとも2.1倍に拡大見込み
- 直近の年成長率は、市場予測値の約2倍

今後も市場は“継続的に拡大”



各工場の生産能力増強

- 今期から、新感光材製造棟での生産を開始
- 感光材/化成品共に、生産能力増強を継続実施



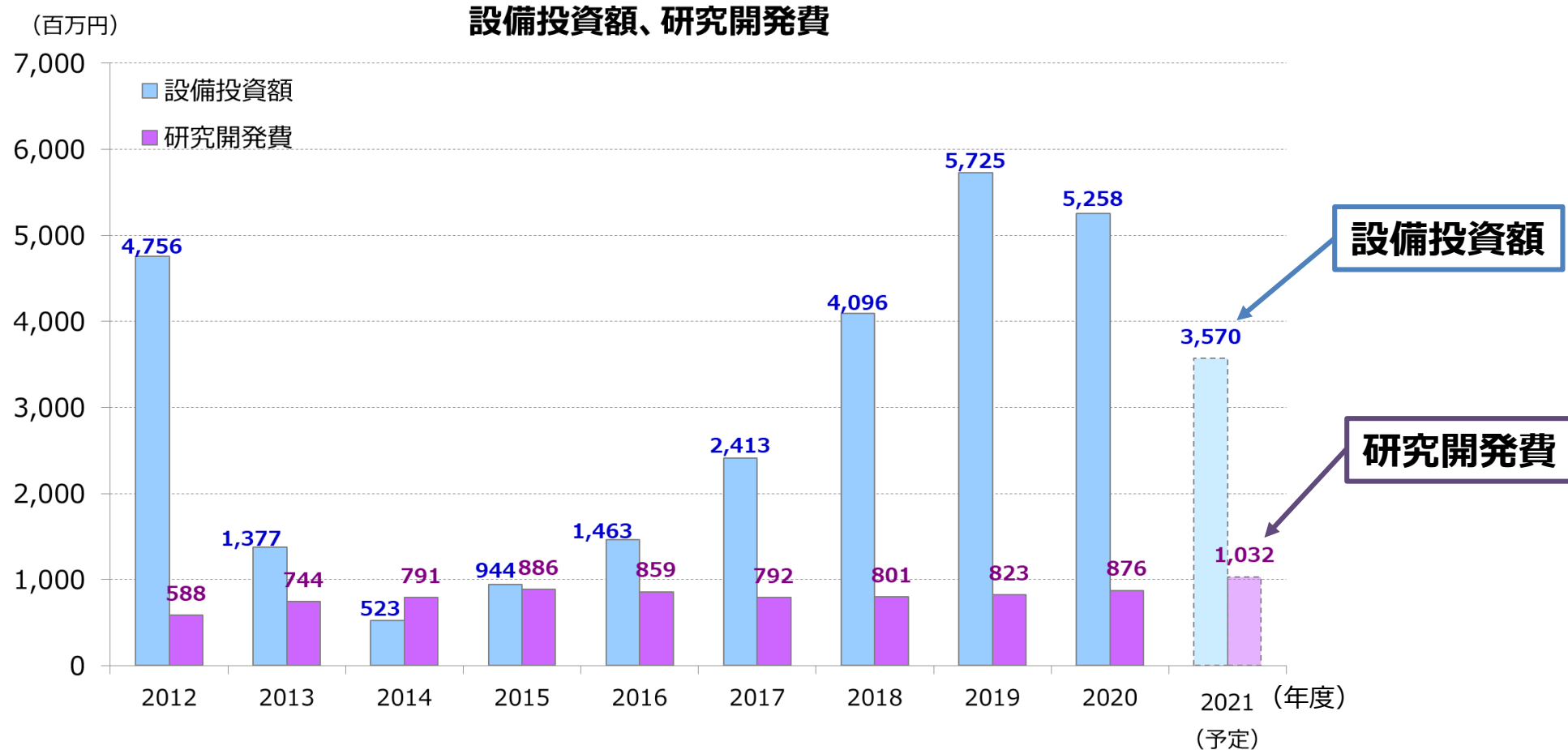
- 今後の需要急増を見据え、千葉工場隣接地を取得。（2021年10月1日プレスリリース）

千葉工場周辺図



“研究開発が生命線”と“成長分野への戦略投資”をポリシーに、強化継続

- 2017年度から継続的に生産能力を増強、今後も継続予定
- 製造技術力向上（分析能力、工程開発、試作ライン）に向け、研究開発投資も加速、強化継続



東洋合成の企業価値

電子材料で
“グローバルニッチトップ”

デバイス製造分野で
“多角的に製品を提供”

全世代で材料を供給
“あらゆるノウハウの蓄積”

R&Dへ積極的投資
“研究開発が生命線”

成長領域への
“戦略的な投資”

独創的な高純度化技術・合成技術・製造技術によって、“半導体材料トップシェア”
社会変革を支えるため、創業以来の“ベンチャー精神”で、
未来へ挑戦し、
供給拡大によって、企業価値向上を図る

独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

東洋合成工業株式会社

- (見通しに関する注意事項)
- 本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。
- 従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。